

第3回運営委員会 金融セクター案（ご参考）

* 位置付け

- ・ 本内容は、検討途中にある金融セクター内の意見を中間報告するものであり、今後、第2回総合戦略部会に向けた議論の過程を経て、修正が加わる可能性がある。

1. 問題認識

- ・ 近年、持続可能な社会に向けて、「安全・安心」への関心が高まる中、環境や社会の問題に関連する情報の共有不足を示唆する事例が散見された。
- ・ 「安全・安心で持続可能な未来」を目指していくためには、その基盤として「持続可能な消費に関する教育のあり方」や「情報共有のあり方」について議論・検討して、各主体が社会的責任を果たしていくことが大切と考える。

2. 重点課題

① 「持続可能な消費に関する教育のあり方」

「安全・安心」「持続可能な発展」という価値観を共有し、持続可能な社会を次世代につないでいくためには、学校教育にとどまらず、各層による行動を促すための教育への取り組みがカギを握る。その一環として例えば「金融教育のあるべき姿」「安全教育」についても議論、検討。

② 「情報共有のあり方」

持続可能な社会を目指すにあたり、それぞれのステークホルダーが求める情報を、広く共有し、その上で対話を行っていく基盤を持つことが望まれる。そこで、広範な主体の情報ニーズを把握し、「情報共有」の方法論や望まれるあり方について議論、検討。